

男性（30代）禁煙年齢・20代

最後のタバコは、彼女を家に見送った後ろ姿を見ながら、決意をしました。「これで最後の一本にしよう。」

私がタバコを吸い始めて違法にも15年以上が経っていました。そうです、私は中学生の頃に吸い始めました。きっかけは、「ただ」かっこいいと単純なことでした。以来、「ただ」から始まったことが、15年以上も毎日、雨の日も風の日もタバコの販売機に通わせることになりました。ここ数年は、禁煙にもチャレンジをし続けてきましたが、やめることはありませんでした。私はなぜ禁煙できないか理由は解っていました。「ただ」やめる意思が無かったからです。やめたいと思っけていても、「本当」にやめる意思が無ければやめる事はできないという事は気づいていました。

どのようにして、私がタバコを止めたかという、どこでもありふれている簡単なことでした。私は恋をしてしまったのです。恋をした彼女を苦しめたくなかったからです。彼女と出会うきっかけになったのは、私が英語の教師を探していたことからです。たまたま、職場に帰国子女がいたことを思い出しました。そして私が彼女に英語の教師をお願いしたことが最初の出会いでした。偶然にも年が同じで、学生の時に住んでいた場所も同じで、好きな食べ物も同じで、色々な事に意気投合をし、彼女は快く引き受けてくれました。彼女との英語の契約期間はたった半年で日常英会話程度までが目標でした。もちろん、できるはずが無いことはお互いわかっていたのかもしれませんが。それでも私たちは忙しい合間の中、英語をやり続けました。そしていつのまにか、たくさんの時間を彼女と過ごすようになってきました。いつのまにか私は英語の勉強という言い訳を作り彼女に会いに行くようになっていました。そして、いつのまにか彼女のことをたくさん知るようになりました。彼女の好きな食べ物を知り、彼女の好きな洋服を知り、彼女の好きな色を知りました。そして彼女の病気も知るようになりました。彼女は体が弱く、タバコによる煙が彼女を苦しめることも知りました。しかし、一緒にいても彼女は私に文句を言う事は一度も無かったのです。私がタバコを吸うことで英語に集中できればという彼女なりの気配りだったのだらうと思っています。私は彼女の病気を知り、すぐに禁煙を決

意しました。何度も禁煙にチャレンジをして失敗した私でしたが何の不安も無いくらいに禁煙ができる自信がありました。今思えば、何の迷いも無く禁煙ができました。なぜなら、禁煙したその日も、次の日も、その次の日も彼女と会っていたからだと思います。きっと彼女の笑顔が私の禁断症状を忘れさせたのだと思っています。私と彼女の残り時間も少なくなった、ある日に彼女に思い切って告白しました。私は告白するのが初めてだったので、とても緊張していました。年がいても無く自分の家の鏡をみて練習もしてみました。しかし、告白した言葉は、「好きだよ！」という言葉だけだったと思います。返事は「ごめんなさい」と言われると解っていました。なぜなら、彼女は私との契約期間の終了とともに、お嫁さんになることが決まっていたからです。私は「本当」にお馬鹿さんでした。

あれから一年が過ぎました。あの時と今ではいろいろなことが変わりましたが、今でも振り返ると最近のこのように思い出します。彼女と出会えた事で私の全てが変わった気がします。恥ずかしくて、口に出せなかった言葉や、彼女の楽しそうな顔を見るために色々なことを考え、いつの間にか彼女がすべてになっていく自分がいました。まさしく彼女しか見えていない状況だったのでしょう。人を「本当」に好きになって、「本当」に心から愛する意味がわかった気がします。今までの私の全てを変えた瞬間でした。もちろん、タバコを止めたことで、レストランでの店探しをせざるにすみました。旅行が楽しくなりました。そして、愛する人という時間が増えました。私にとって、タバコをやめたあの日が人生のターニングポイントだったと思います。

私は今、彼女と一緒に生きています。そして、これからは過去も未来も現在も彼女と一緒に生きる時間を大切にしたいと思います。あの日から、本当に色々なことがありました。決して、すべてが良いことばかりではありませんでした。ほとんどの人に反対もされました。一時は周りの人のためにも一緒になることもあきらめました。出会ったことを後悔したこともありました。それでも、自分に嘘をつくことなく私は彼女と結婚をしました。彼女と一緒にいられる時間が少なくなっていることも解っています。これからも平坦な道ばかりでないことも知っています。でも、私はとても幸せです。何があろうと私は彼女を愛し、守り続けていきます。

タバコを止めて一年です。しかし、再び私がタバコを吸う事はありません。

「ただ」吸いたいだけのタバコは愛する人を奪っていきます。強い「本当」

の気持ちは愛する人を守れます。

エミ、あいしているよ。ずっと、一緒にいよう。